

第2回 テーマ企画展について

きっかけは他大学から『自動車技術會報』<1947(昭和22年)>の文献複写依頼

調べてみると

- ① 当時8社の電気自動車製造(開発)会社が存在していた。
- ② 日本政府(商工省、現在の経済産業省)は電気自動車の普及を図り、交通網の整備を構想していた。
- ③ 1947年(昭和22年)、東京電気自動車(府中市)は、2ドアセダン・4人乗りの電気自動車『たま』号を完成した。
※改良型『たま』号の性能：最高速度55km/h、一回の充電による走行距離は200km
- ④ 1949(昭和24)年、日本の電気自動車普及台数は3,299台(全体の約3%)だった。
- ⑤ 1955(昭和30)年、道路運送車両法から電気自動車の項目が削除され、電気自動車が街頭から忽然と姿を消した。



出典：日産ヘリテージコレクション

そこで…

令和5年度テーマ企画展

「図書館資料から紐解く我が国電気自動車開発の歴史」

第1部 「1940年代 日本の電気自動車開発、それは『たま』から始まった」

令和5年7/23(日)～9/15(金)

第2部 「忽然と街頭から姿を消す電気自動車、一体何があったのか？」

令和5年11月下旬から開催予定

第3部 「環境問題やSDGsで、再び脚光を浴びる電気自動車」

令和6年2月中旬から開催予定

Point 1

Point 2

Point 3

高い技術力と技能を有する
日本の技術者が戦後の混乱期に
高性能の電気自動車を
開発していた事実

高性能の電気自動車が
10年ほどの期間で街頭から
忽然と姿を消してしまった理由

科学・技術の継承や
技能の伝承の重要性

【展示物の紹介】

- 1 職業大図書館所蔵図書
 - ・『自動車技術』第1巻(1947)～第5巻(1951)
 - ・その他関連する図書、雑誌
- 2 Webサイト情報
 - ・日産自動車ホームページ
 - ・日本の自動車技術330選 (JSAE)
 - ・疾走する『たま』号 (YouTube動画)
- 3 展示パネル

多くの皆さんに地域とその歴史を知ることの
楽しさ、興味・関心を持つことの喜びを
体感していただきたいと思います。
ぜひ、職業大図書館にお出かけください。
皆さまのお越しをお待ちしています。



職業能力開発総合大学校
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)